

日本セーリング連盟
会員アンケート(2021 年度)
報告書

2022 年 03 月

公益財団法人日本セーリング連盟

目 次

1	調査の概要.....	1
2	調査結果の概要.....	2
3	集計結果.....	3
3-1	会員種別.....	3
3-2	年齢階級	4
3-3	性別.....	5
3-4	就業状況	6
3-5	年収.....	7
3-6	家族構成	8
3-7	子どもの人数	9
3-8	子どもの年齢(最年少)	10
3-9	セーリングを習っている・やっている子どもの有無.....	11
3-10	趣味(セーリング以外)	12
3-11	趣味(セーリング以外)の実施頻度	13
3-12	セーリングの楽しみ方.....	14
3-13	セーリング経験年数	16
3-14	セーリング実施頻度	17
3-15	セーリングの同行者	18
3-16	クルーザー・ディンギー保有状況	20
3-17	セーリングにかかる費用	21
3-18	セーリングを始めたきっかけ	22
3-19	セーリング継続の理由	24
3-20	セーリング継続の苦勞・困っていること	27
3-21	JSAF 会員サービスに求める内容	29
3-22	JSAF に求める情報提供	31
3-23	JSAF が今後発信すべきセーリング競技・スポーツの社会的価値.....	33

1 調査の概要

会員の動向・セーリング活動状況等を把握・分析して、今後のマーケティング推進に活用するためアンケート調査を実施した。

図表 1-1 調査概要

調査対象	日本セーリング連盟登録会員
調査期間	2022 年 2 月 25 日(金)～3 月 19 日(土)
調査項目	1. 基礎情報 2. お子さんについて 3. 趣味について 4. セーリング実施状況について 5. セーリングのきっかけ・継続理由・課題について 6. JSAF に対する要望・セーリングへの期待など
配布数	会員約 10,000 名にメールにて配布
回収	1,243 名(回収率 12.4%)

2 調査結果の概要

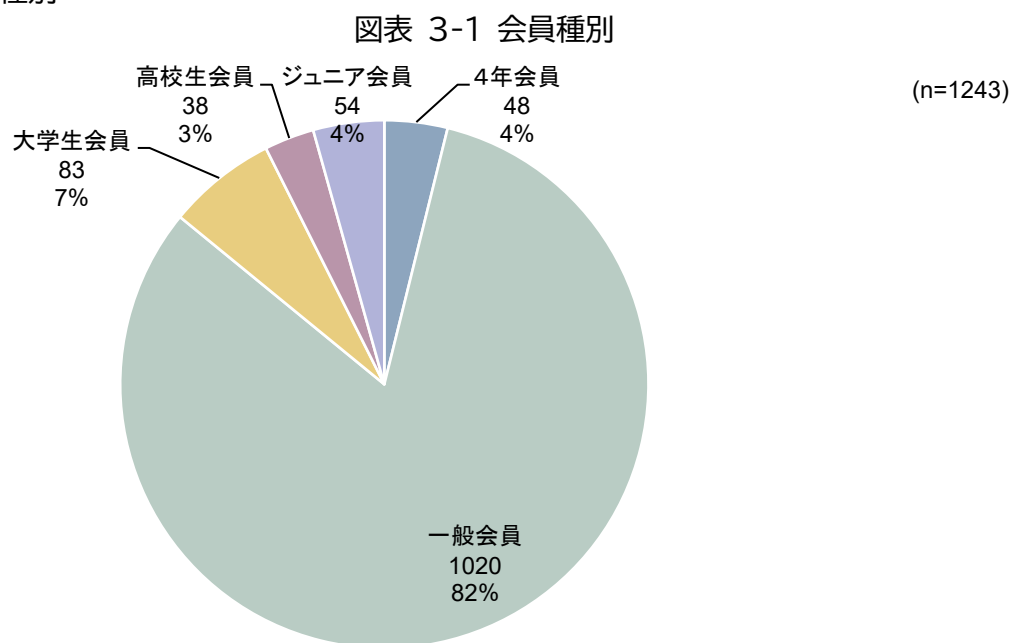
会員アンケート調査の結果概要は以下の通り。

図表 2-1 会員アンケート調査結果のポイント

- 年収 1,000 万円以上が 24%を占めるなど高収入層が見られた。(50 代は 4 割弱)
- 子どもを持っている会員のうち、27%の子どもがセーリングを習っている。
- 趣味ではマリンスポーツ・旅行が4割、車・ドライブが3割弱、アート、アウトドア・ウィンタースポーツが2割強、リクリエーションスポーツ・登山・ハイキングが1割強、ボランティア活動は 8%であった。
- セーリングの楽しみ方は、趣味・ファンセーリングが最も多く5割弱(高齢になるほど増加)、競技大会参加(ディンギー・クルーザー)がそれぞれ4割ずつ(ディンギーは高齢になるほど減少)、知人との交流は4割弱であった。
- セーリング経験は半数強が 20 年以上、JSAF 所属年数は半数強が 10 年以上であった。30 代・40 代でも 10 年未満が 20%強存在した。
- セーリング同行者は固定クルー・チームメンバーが6割に上り、経験者の友人・知人が4割であった。未経験者友人・知人は1割程度、一人(30 代が最も多い)が2割弱であった。子どもと乗るのは 40 代が多かった。
- 保有状況はクルーザーが個人・共同所有が高齢になるほど増加した。
- セーリングを始めたきっかけは学校の部活・サークルが4割強、親の影響が1割、友人知人の影響が2割(高齢になるほど増加)であった。
- セーリング継続の理由は海が好きだからが7割弱、交流を楽しむため・自然を楽しむため・競技力向上のためが4割強、日常のストレス発散が3割強(いずれも高齢・高収入になるほど増加)であった。
- セーリング継続の苦労・困難なことは、経済的負担が3割強、時間的制約・仕事が忙しい(30・40 代が多い)が2割強(高齢になるほど減少傾向)であった。クルーがいないは2割弱であった。人間関係が負担であるが 30 代で 25%となっている。
- JSAF に求めるサービスは、大会・イベント情報(50 代・60 代が多い)、セーリングをしない同伴者がハーバー等で楽しめる環境・サービス(30・40 代が多い)が3割強、各種割引サービス・連携サービス、エキシビションレース・観戦システム開発・提供等が2割強であった。ファミリー向けイベント、競技リーグ創設は 30 代・40 代で多かった。
- JSAF が提供すべき情報は、クルージング・ツーリズムの寄港地・情報が高齢になるほど増加した。
- 発信すべきセーリング競技・スポーツの社会的価値は、海への親しみ・ふれあいの創出が6割強で最も多く、自然との共生・理解の啓発、海洋教育・学びの機会の提供、セーラーの人的魅力・シーマンシップの浸透が5割前後であった。SDGs/環境保全への貢献は4割弱、健全・上質なコミュニティ交流・サロンや DEI の理念は3割弱であった(SDGs/DEI は公務員などが高い)。大学生・高校生会員は全体として割合が低く、全般的に高齢になるほど増加した。

3 集計結果

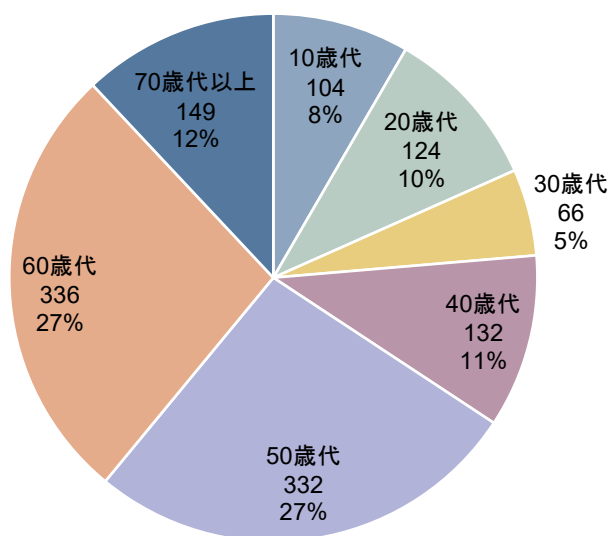
3-1 会員種別



3-2 年齡階級

圖表 3-2 年齡階級

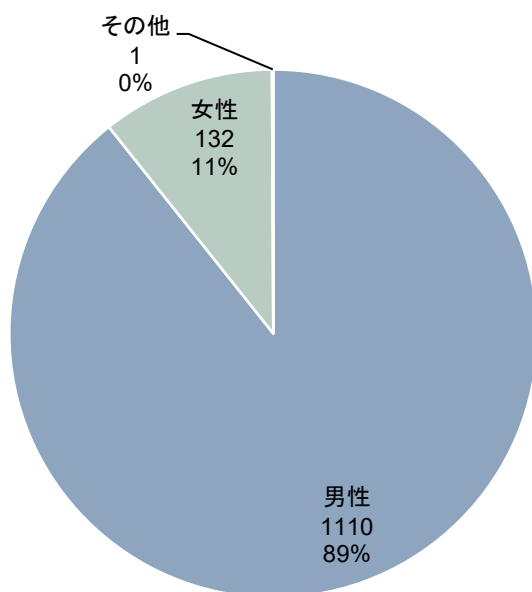
(n=1243)



3-3 性別

図表 3-3 性別

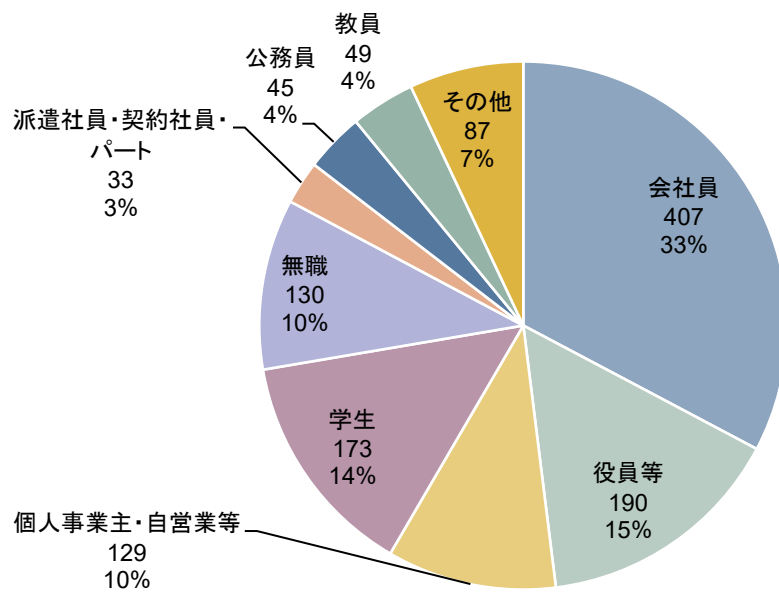
(n=1243)



3-4 就業状況

図表 3-4 就業状況

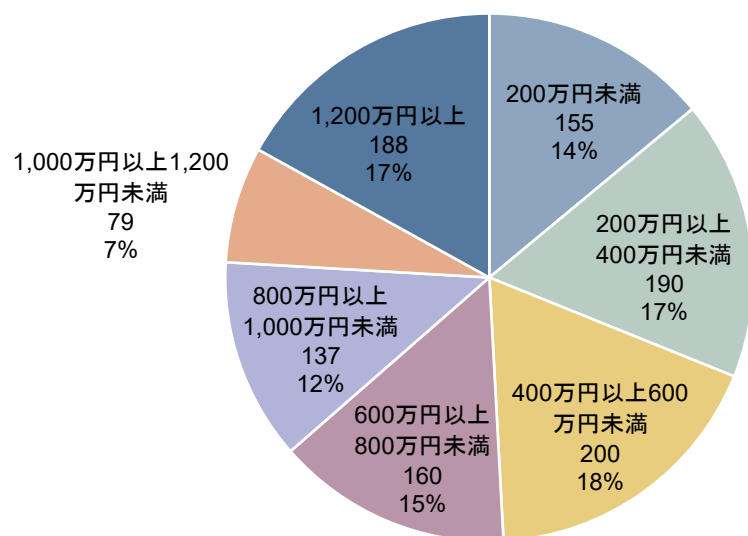
(n=1243)



3-5 年収

図表 3-5 年収

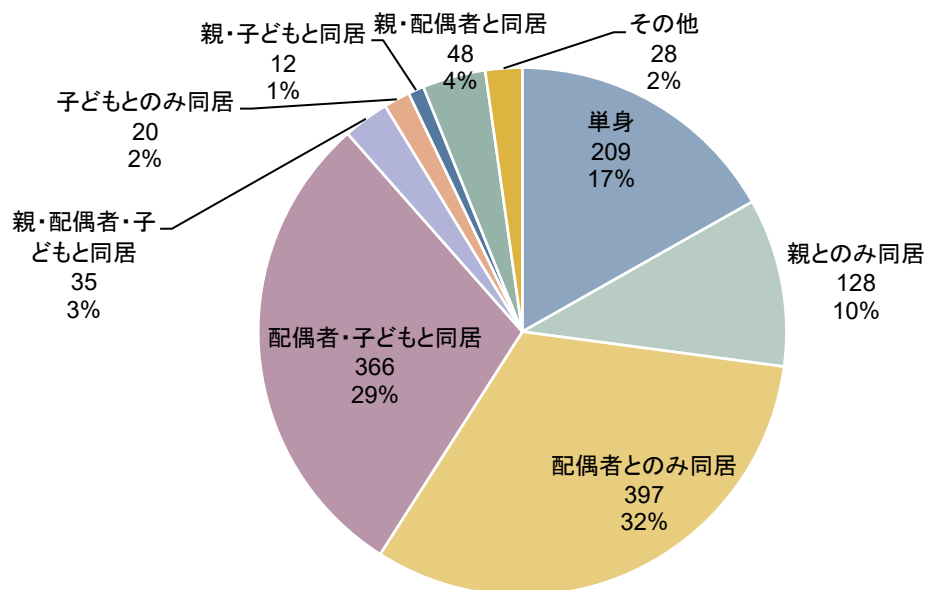
(n=1109)



3-6 家族構成

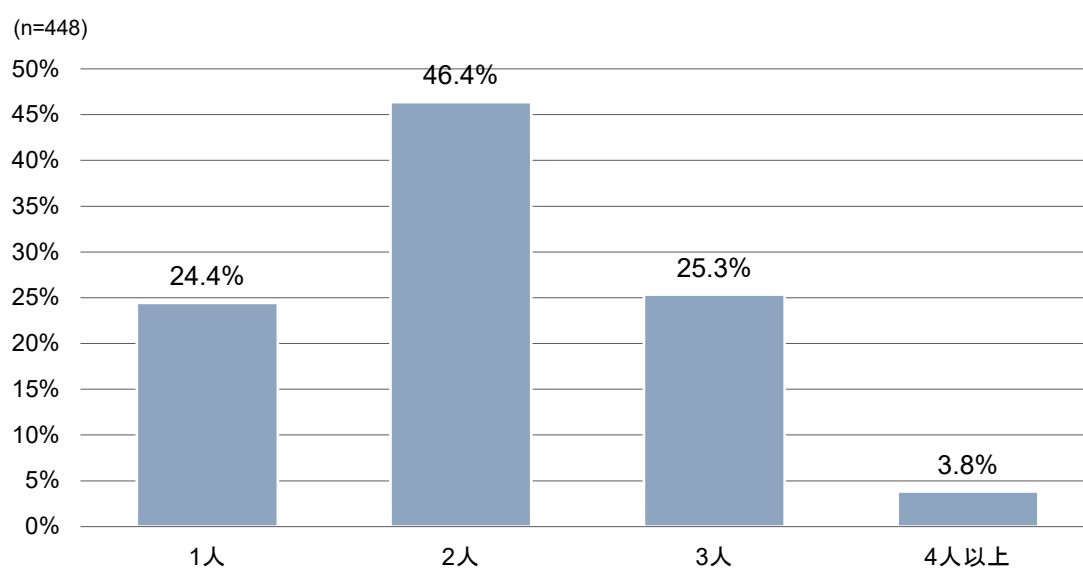
図表 3-6 家族構成

(n=1243)



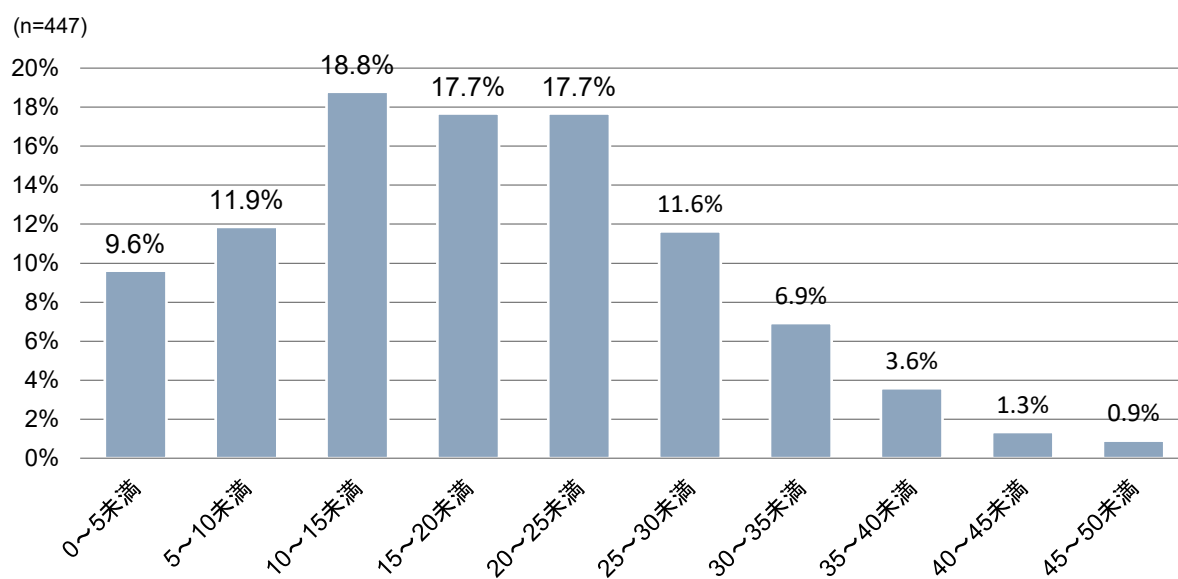
3-7 子どもの人数

図表 3-7 子どもの人数



3-8 子どもの年齢(最年少)

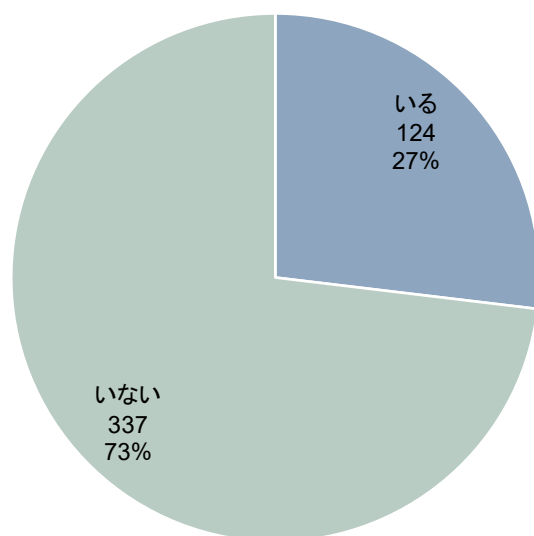
図表 3-8 子どもの年齢(最年少)



3-9 セーリングを習っている・やっている子どもの有無

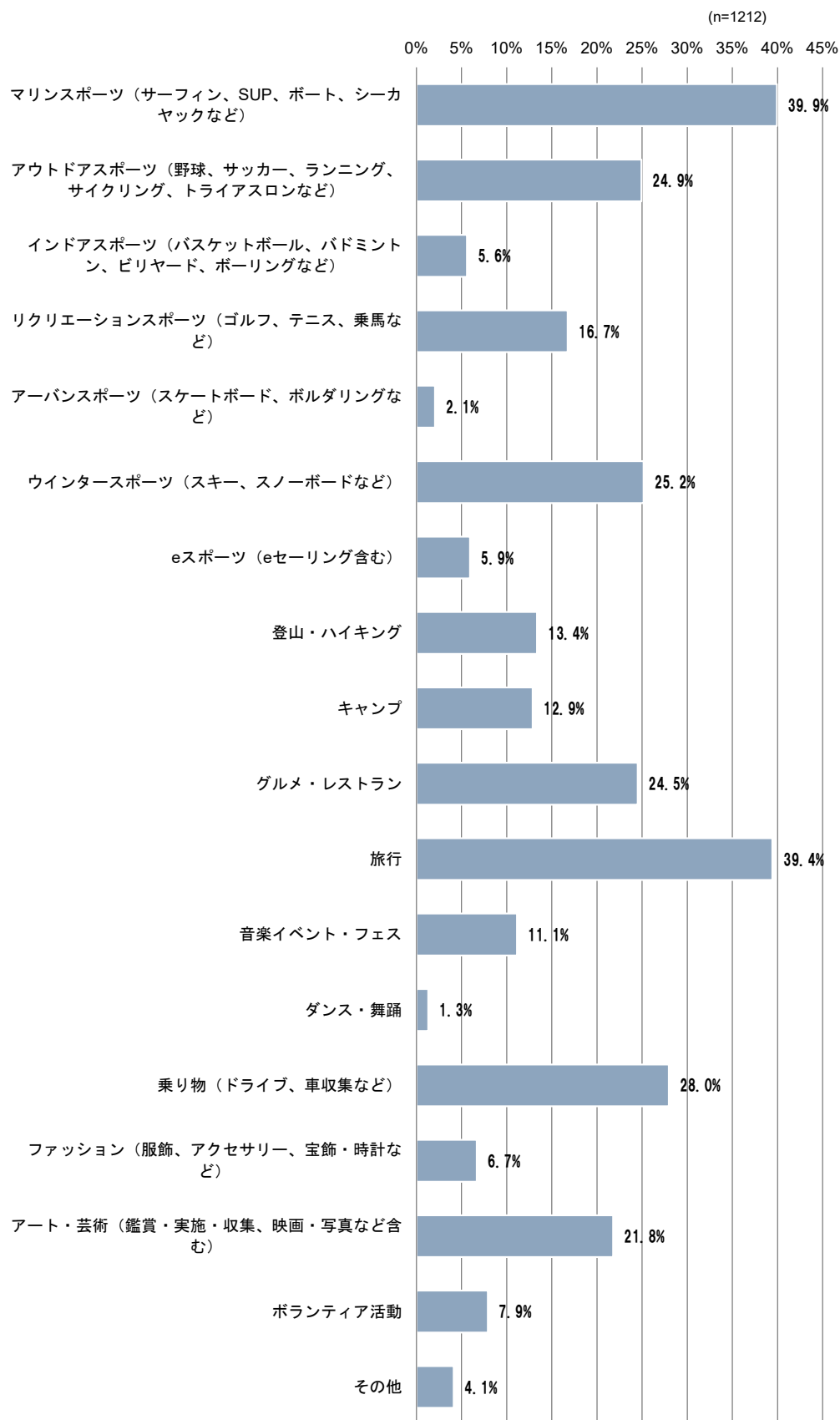
図表 3-9 セーリングを習っている・やっている子どもの有無

(n=461)

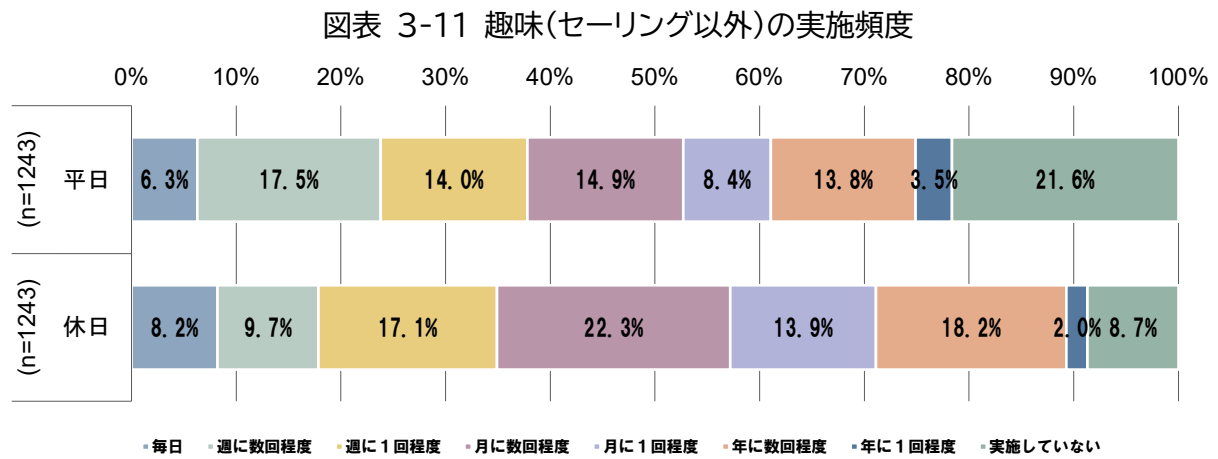


3-10 趣味(セーリング以外)

図表 3-10 趣味(セーリング以外)

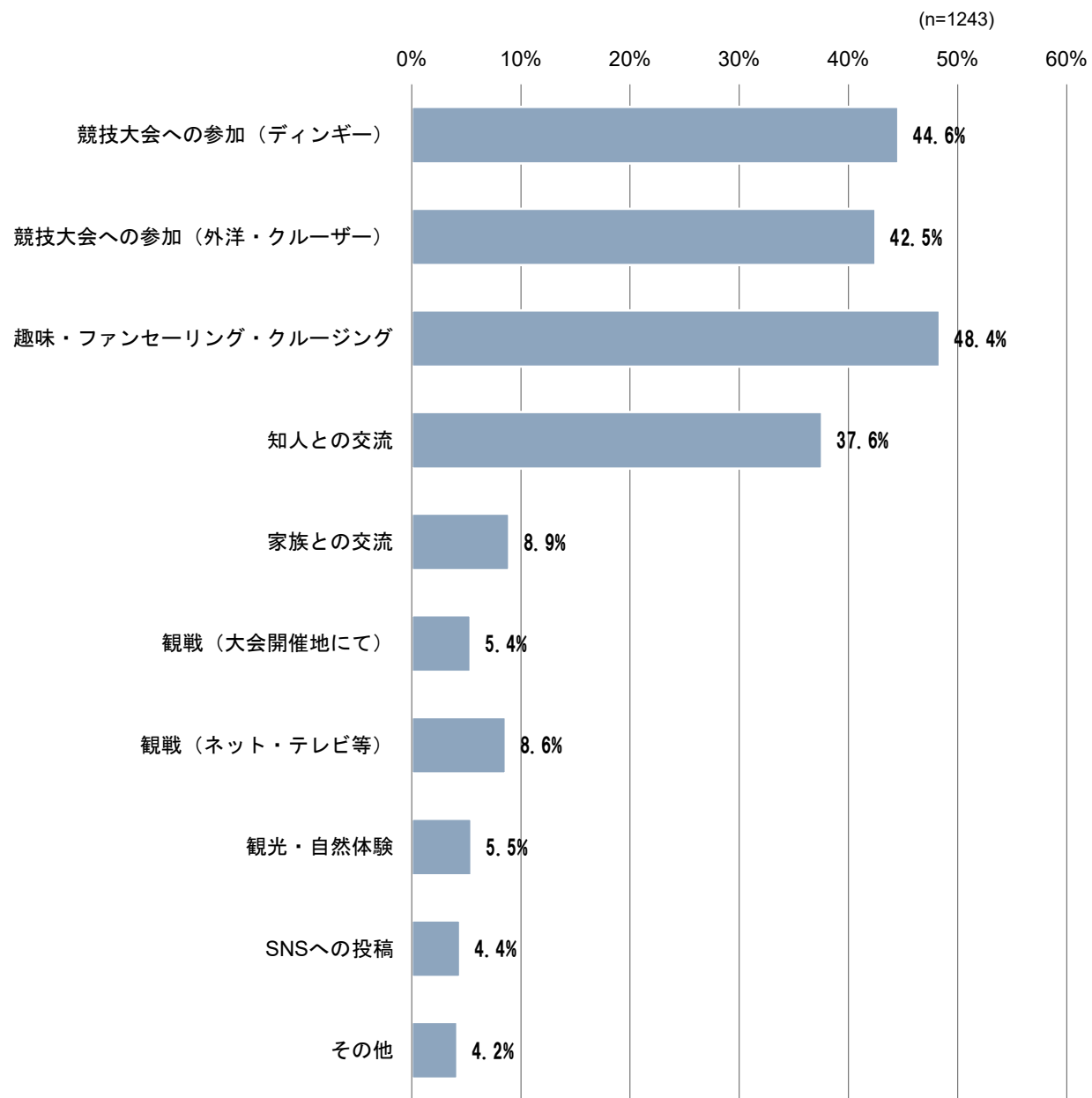


3-11趣味(セーリング以外)の実施頻度

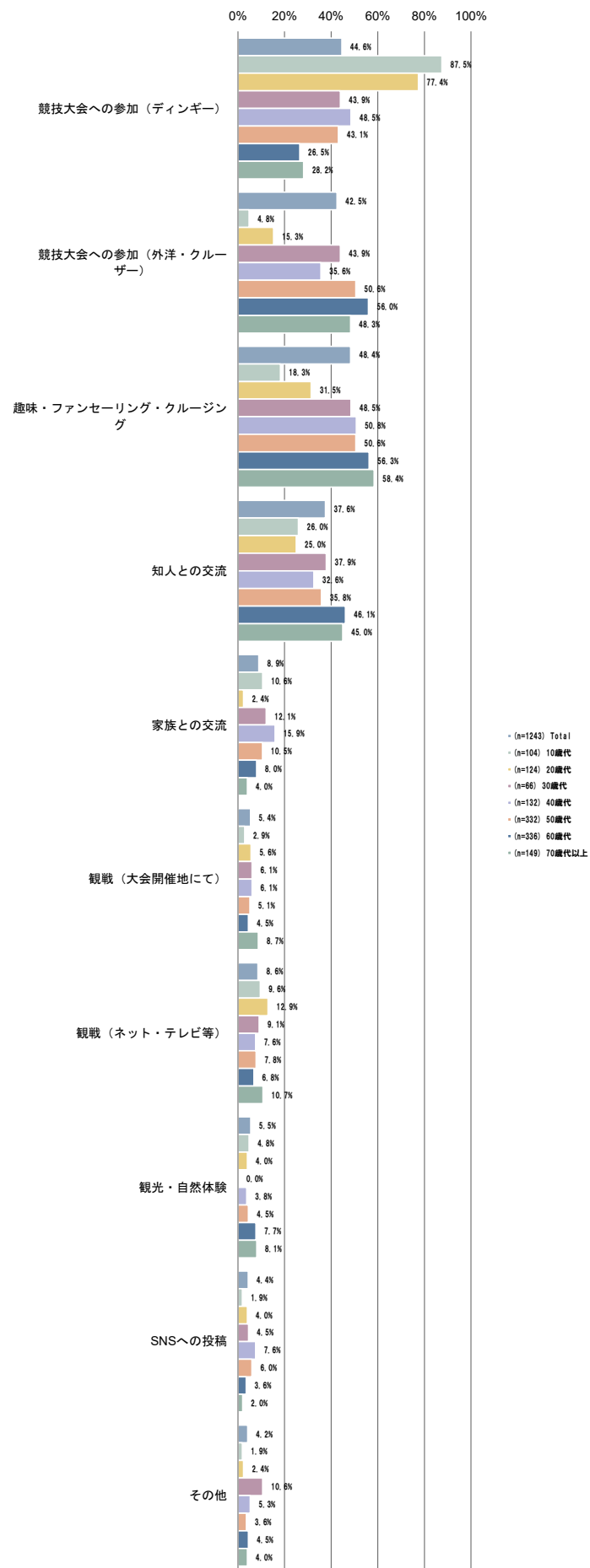


3-12 セーリングの楽しみ方

図表 3-12 セーリングの楽しみ方

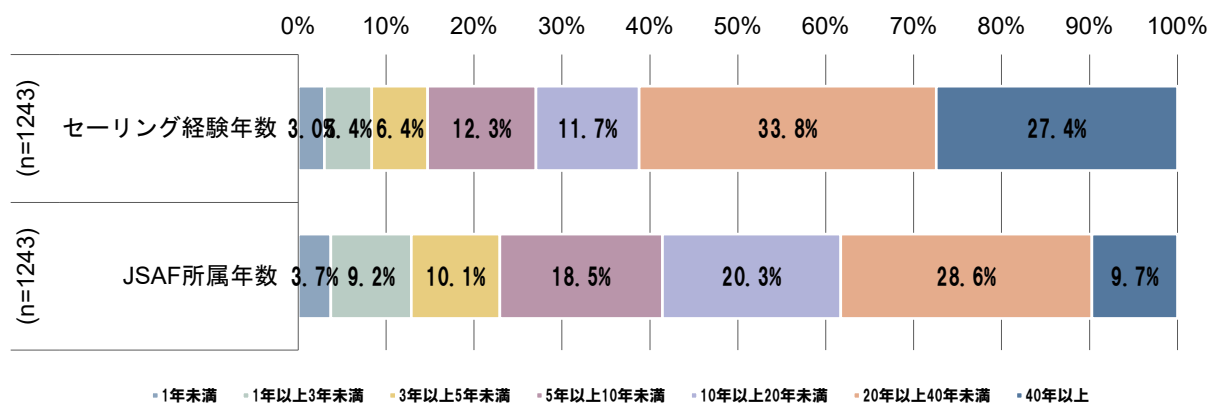


図表 3-13 セーリングの楽しみ方(年齢計級別)

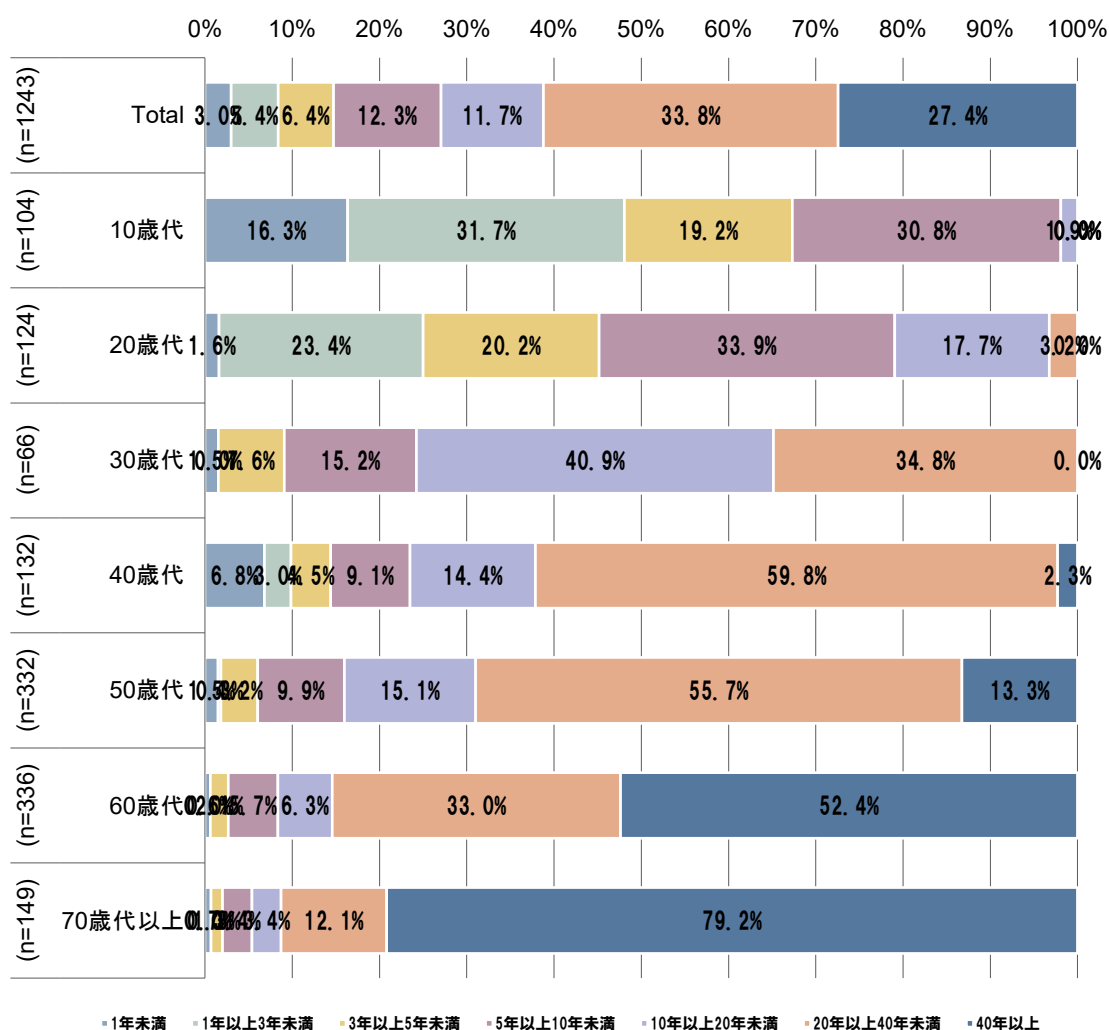


3-13 セーリング経験年数

図表 3-14 セーリング経験年数

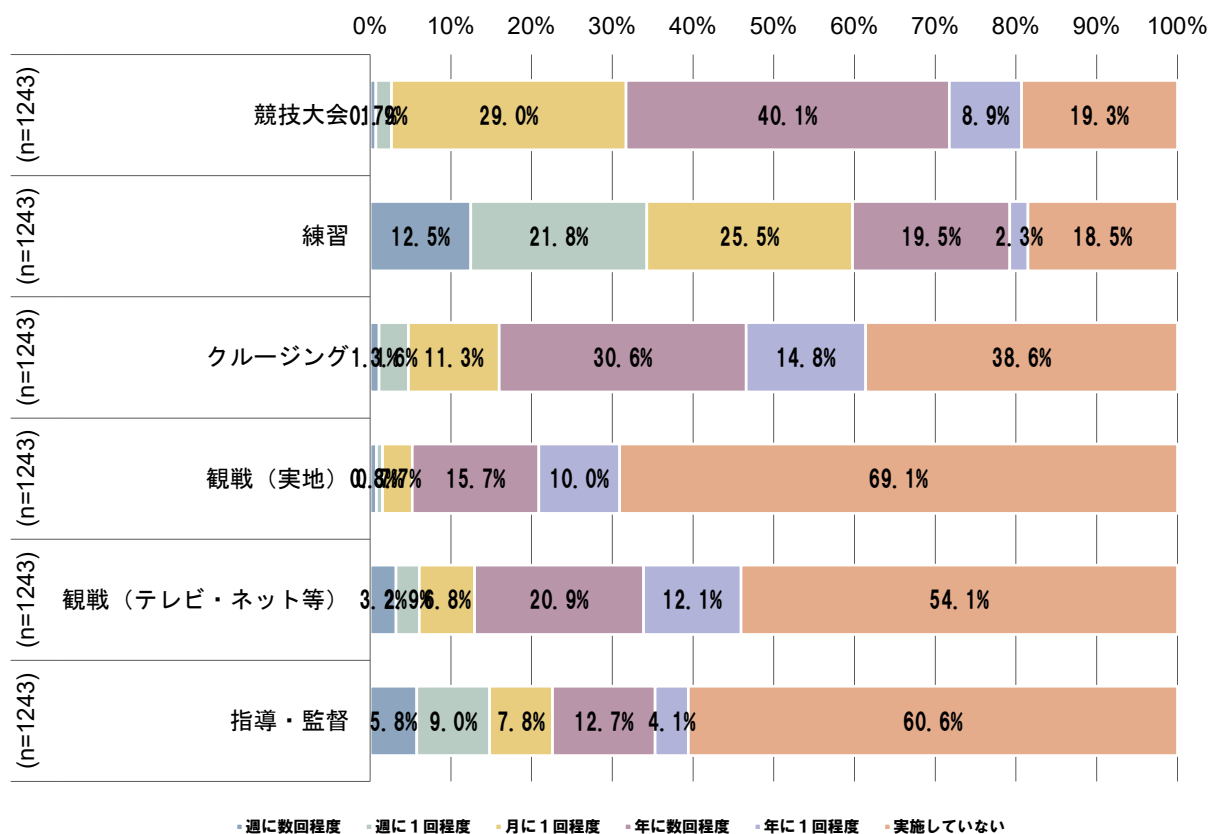


図表 3-15 セーリング経験年数(年齢階級別)



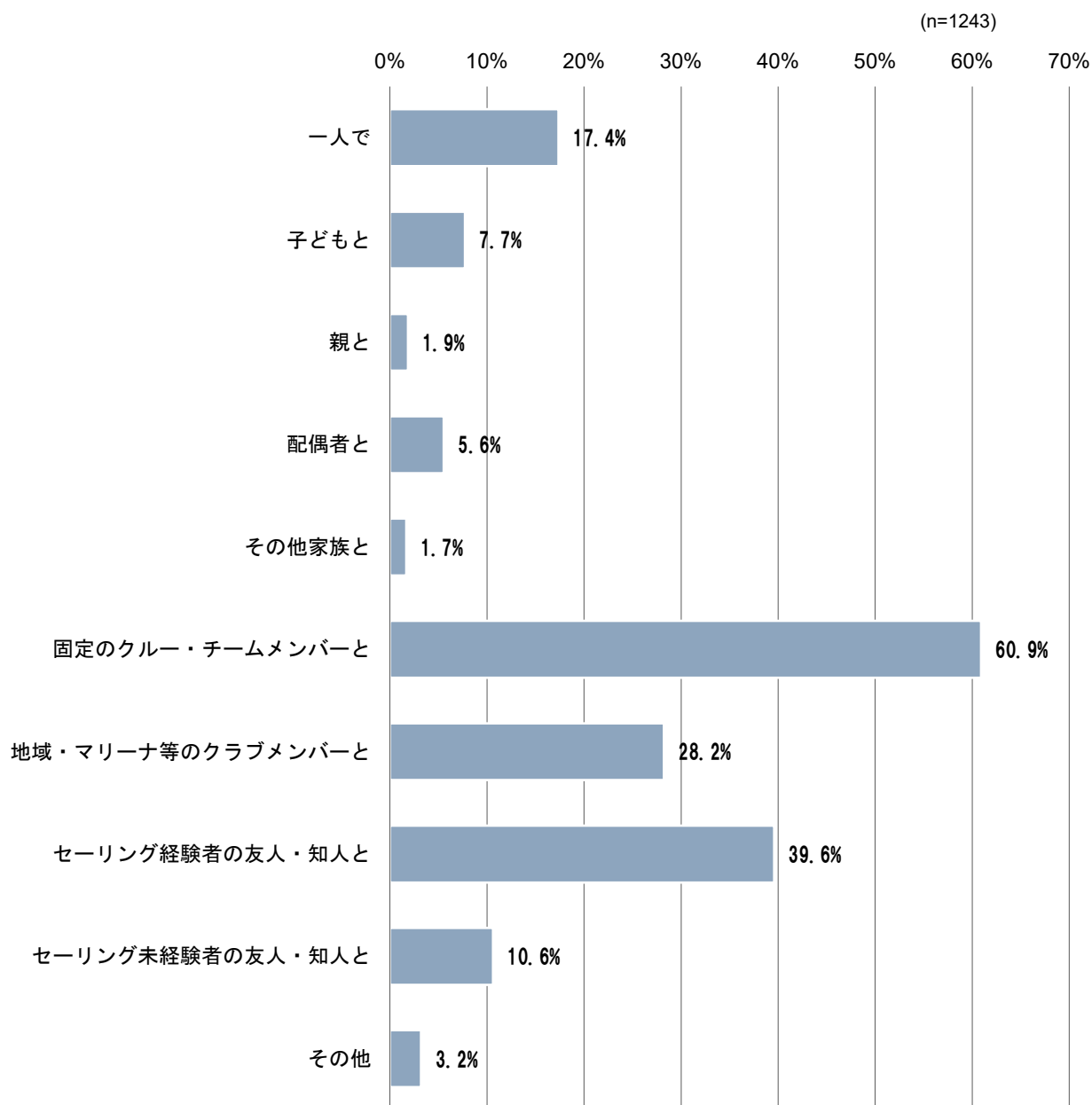
3-14 セーリング実施頻度

図表 3-16 セーリング実施頻度

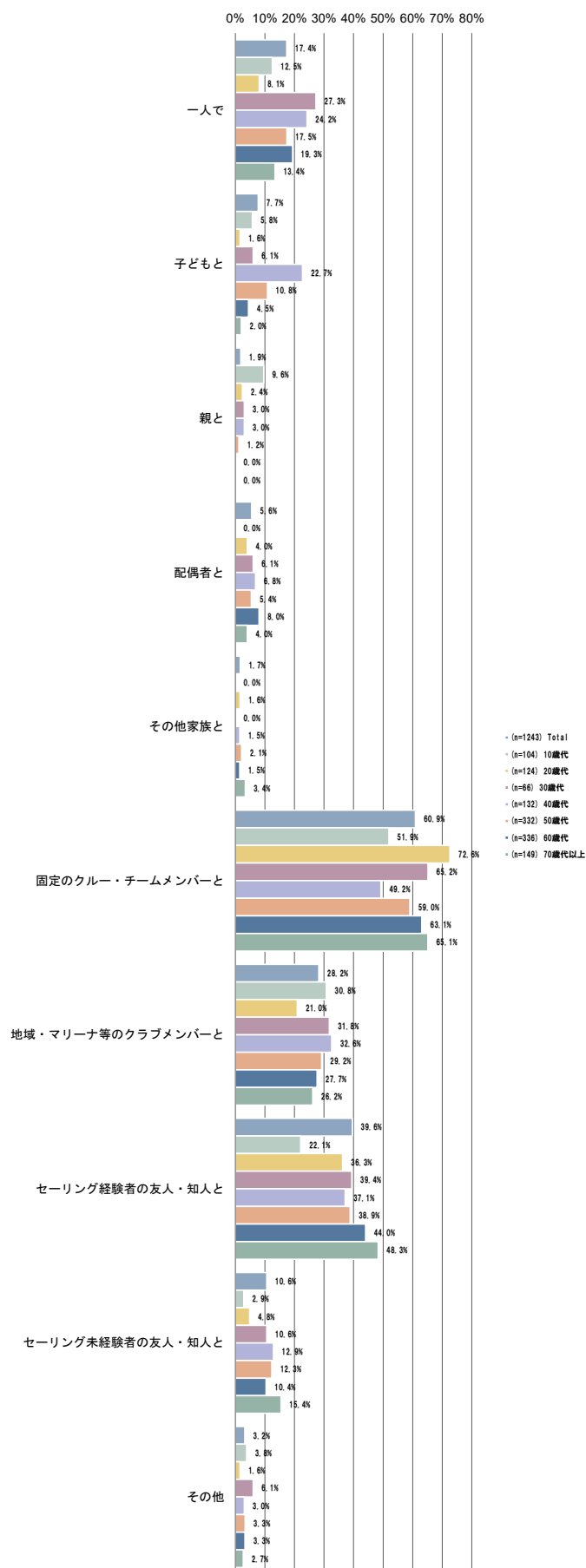


3-15 セーリングの同行者

図表 3-17 セーリングの同行者

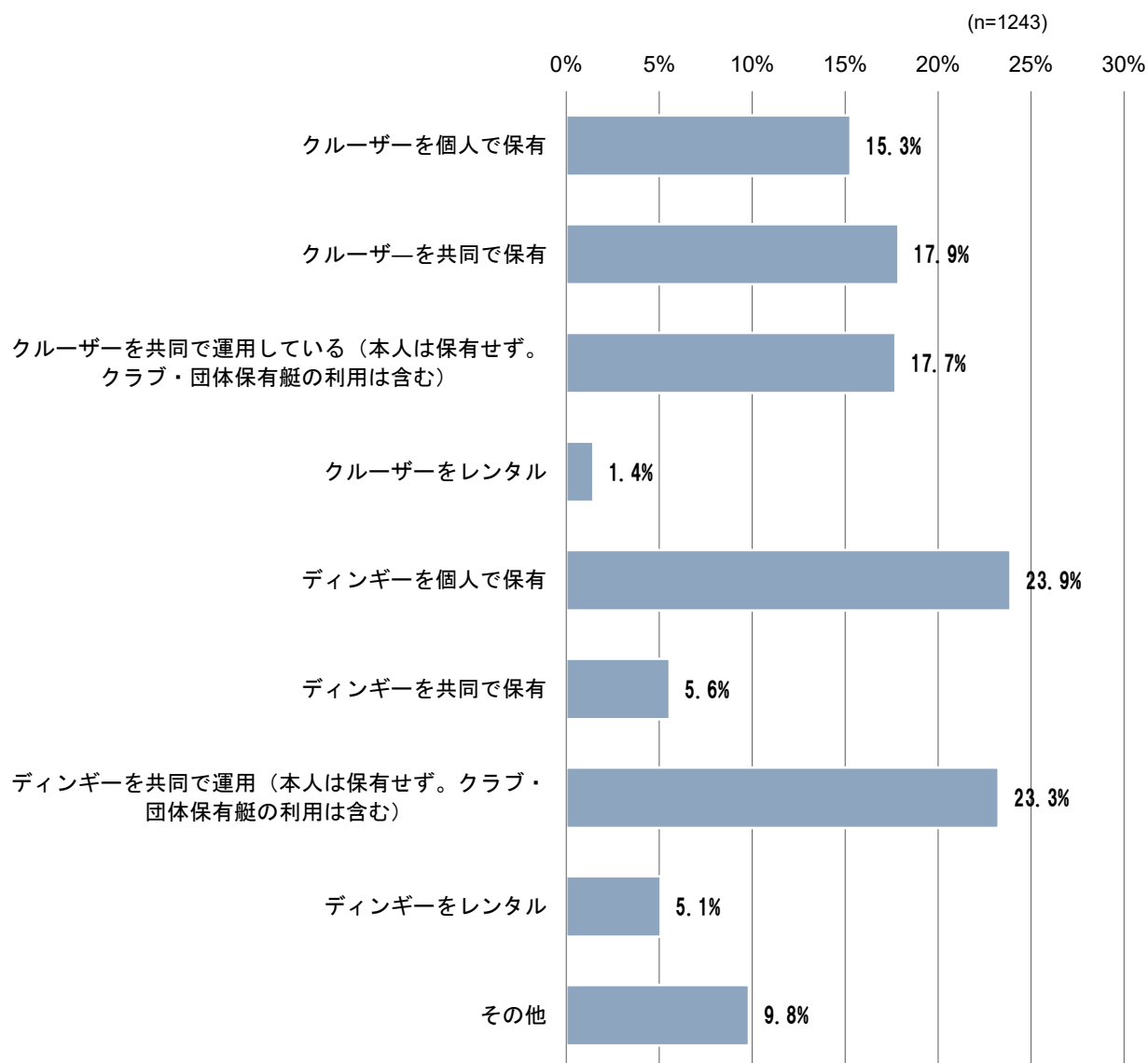


図表 3-18 セーリングの同行者(年齢階級別)



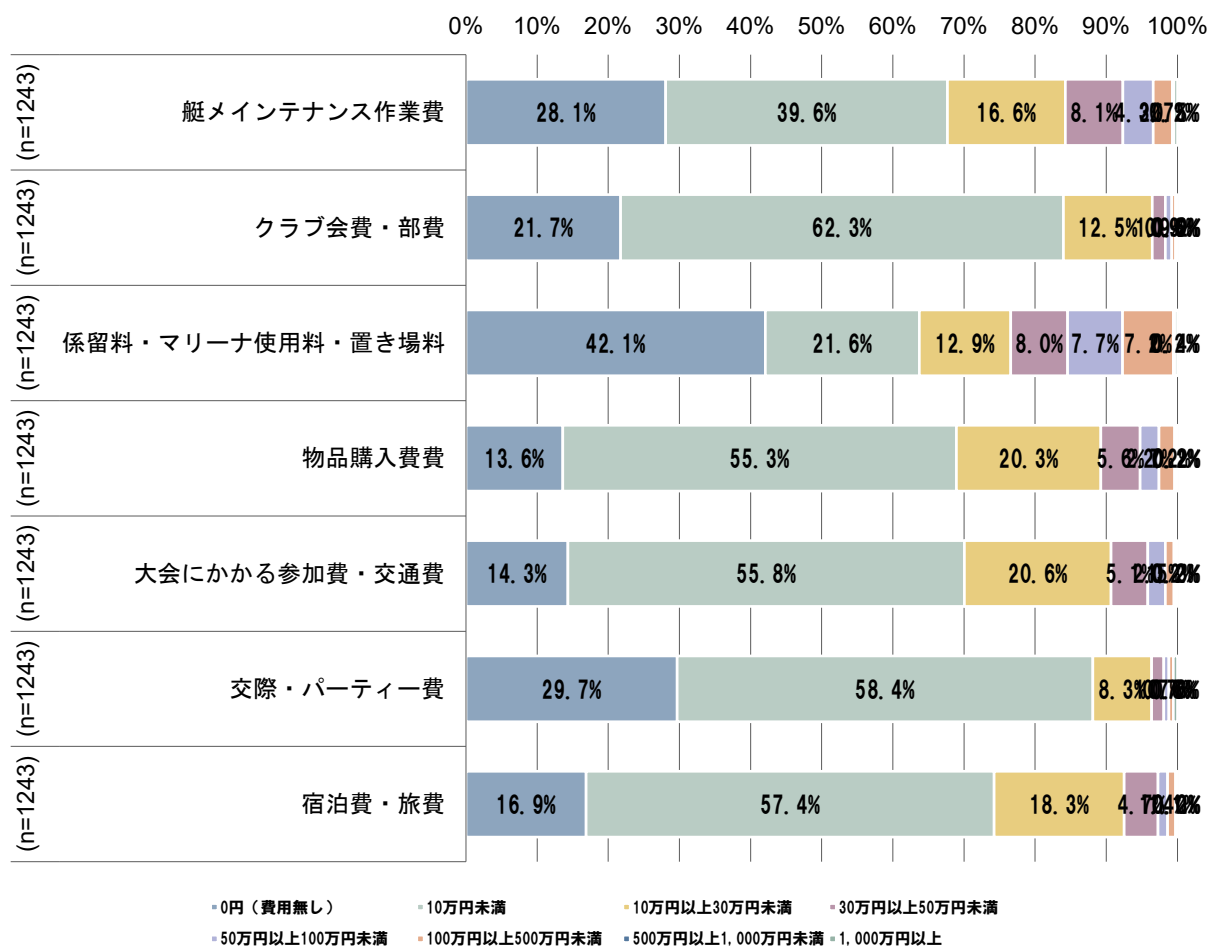
3-16 クルーザー・ディンギー保有状況

図表 3-19 クルーザー・ディンギー保有状況



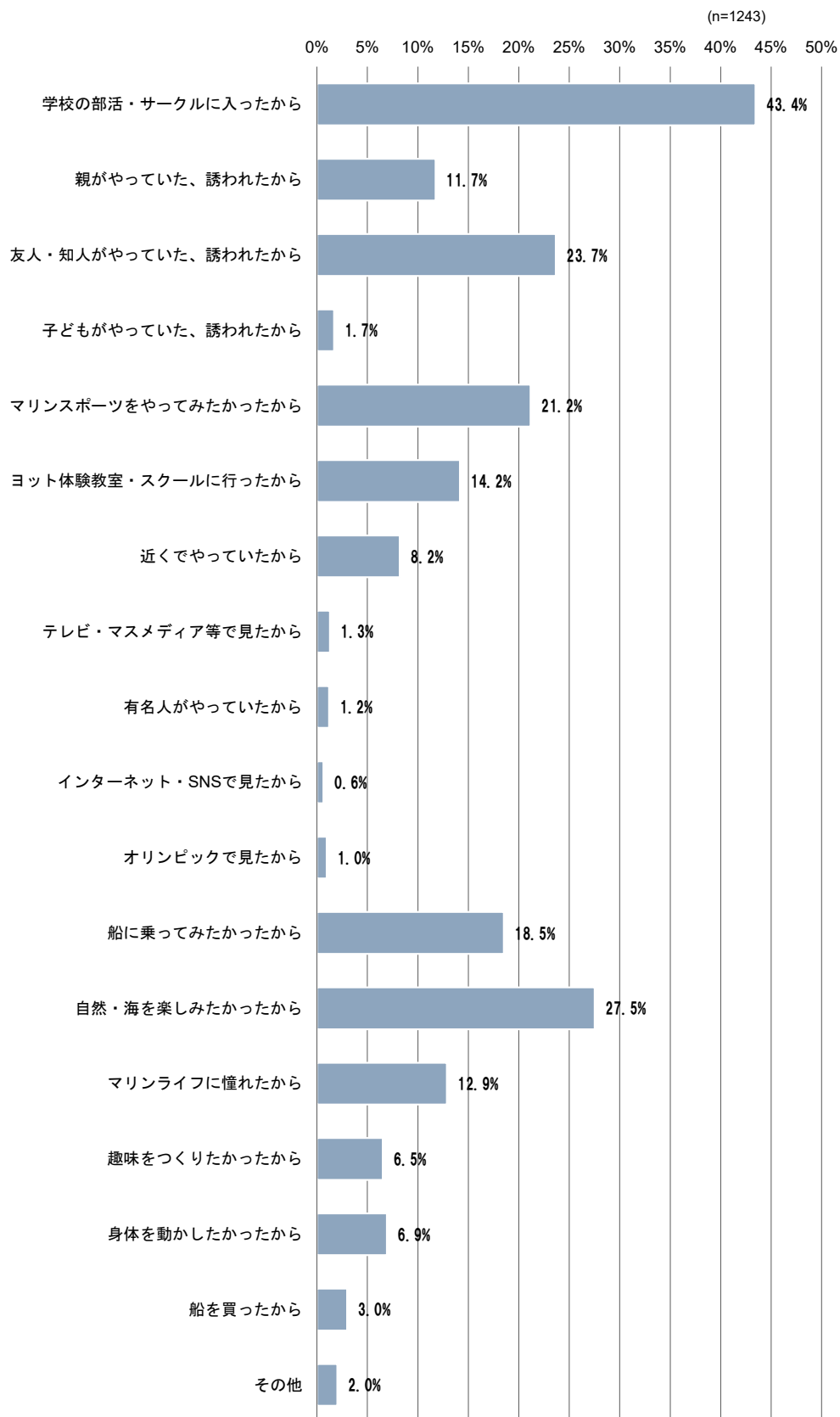
3-17 セーリングにかかる費用

図表 3-20 セーリングにかかる費用

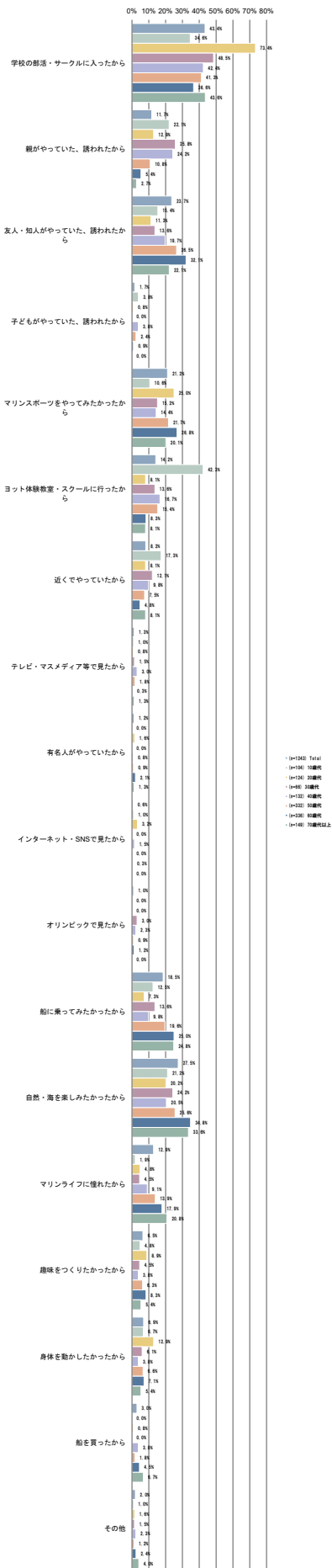


3-18 セーリングを始めたきっかけ

図表 3-21 セーリングを始めたきっかけ

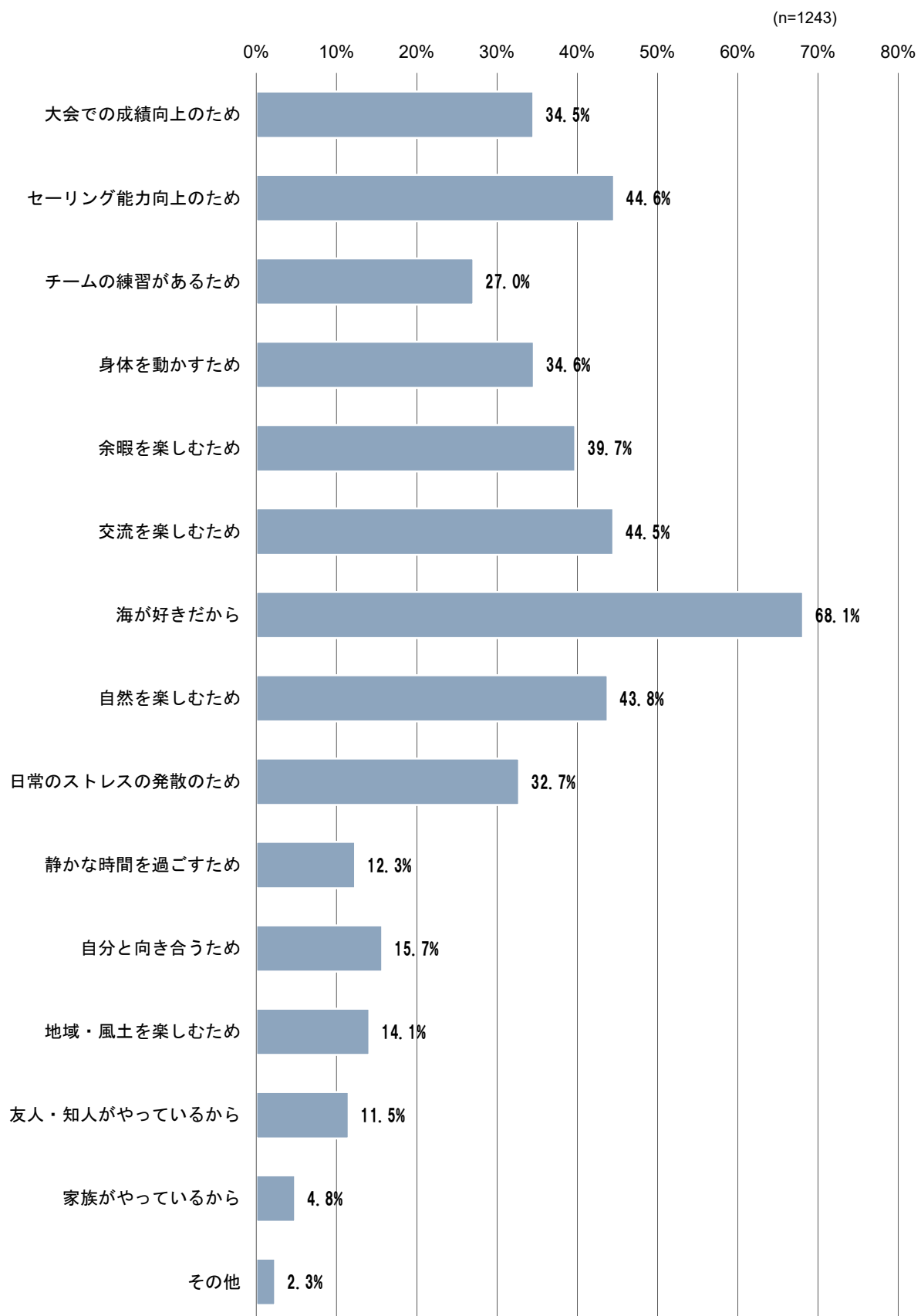


図表 3-22 セーリングを始めたきっかけ(年齢階級別)

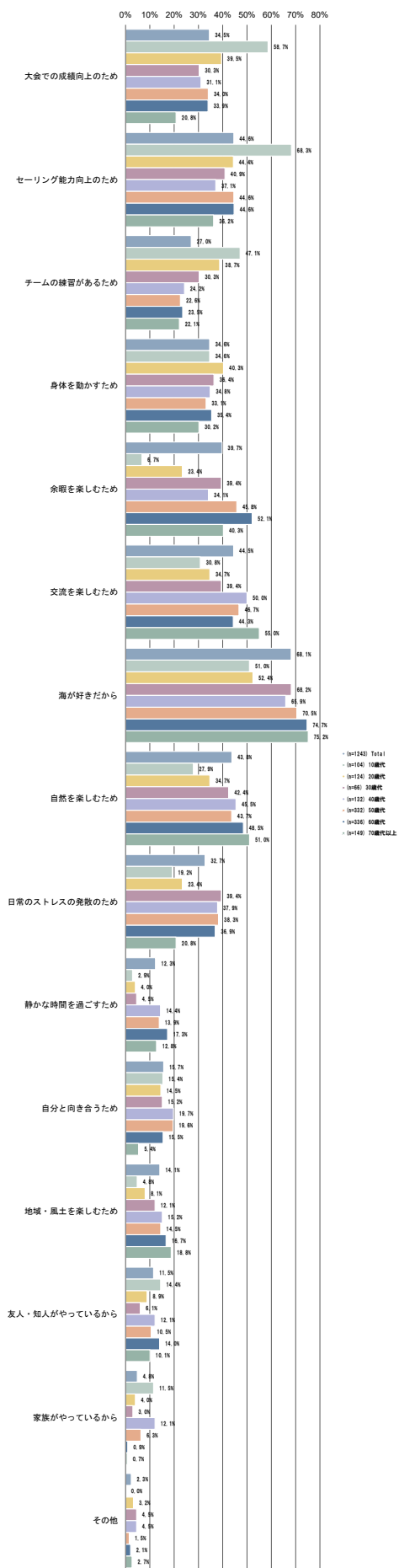


3-19 セーリング継続の理由

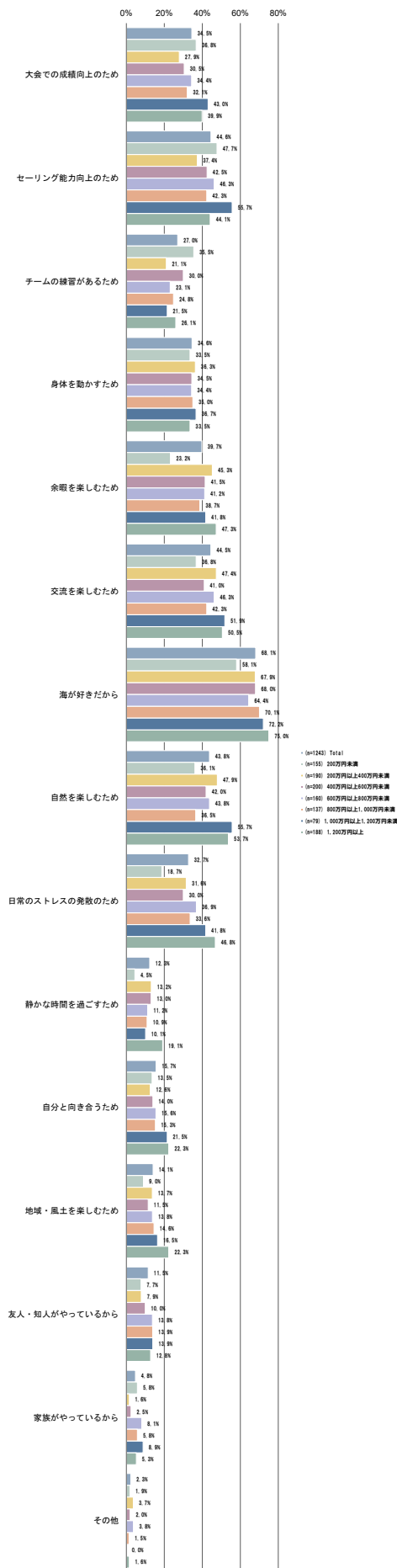
図表 3-23 セーリング継続の理由



図表 3-24 セーリング継続の理由(年齢階級別)

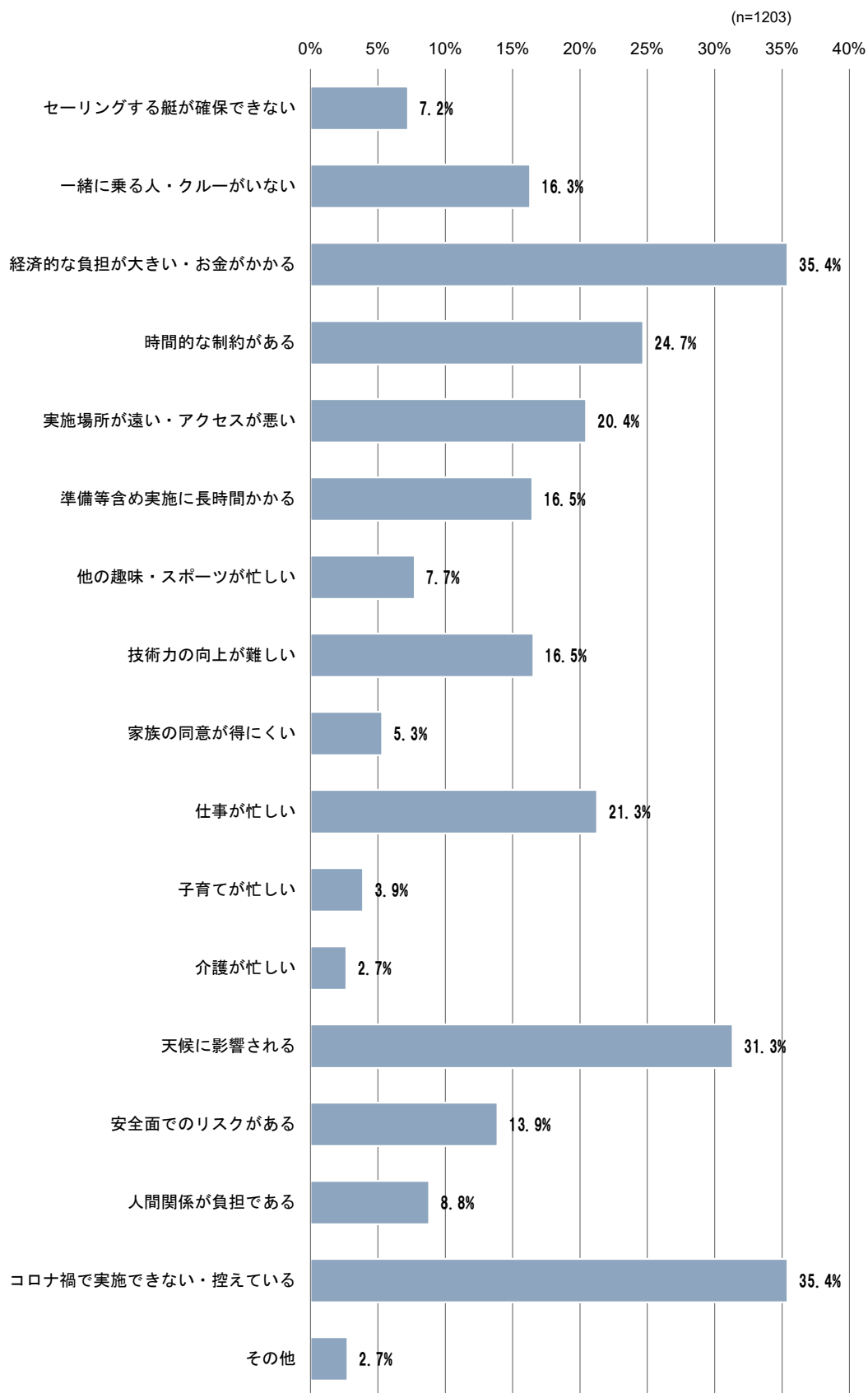


図表 3-25 セーリング継続の理由(年収別)

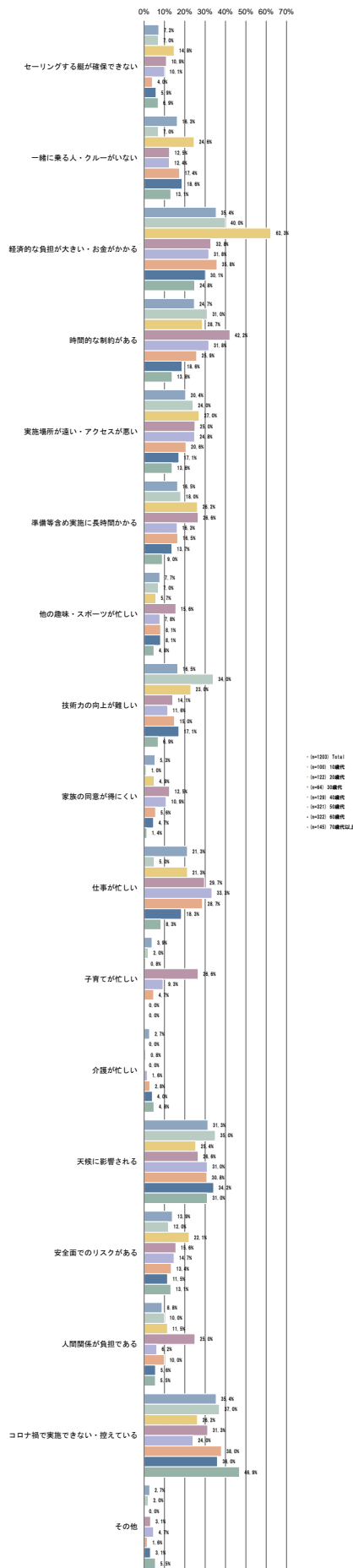


3-20 セーリング継続の苦勞・困っていること

図表 3-26 セーリング継続の苦勞・困っていること

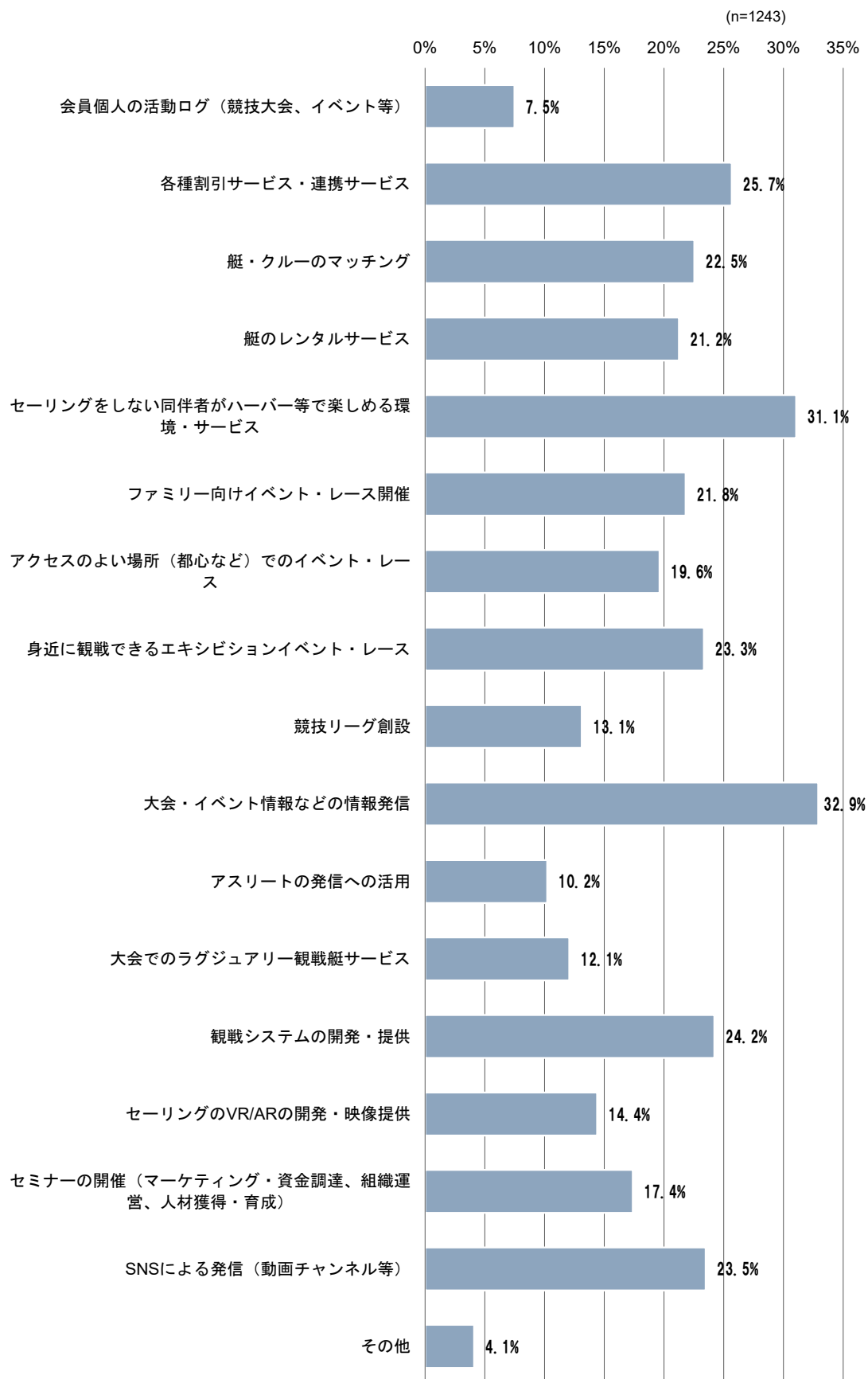


図表 3-27 セーリング継続の苦勞・困っていること(年齢階級別)

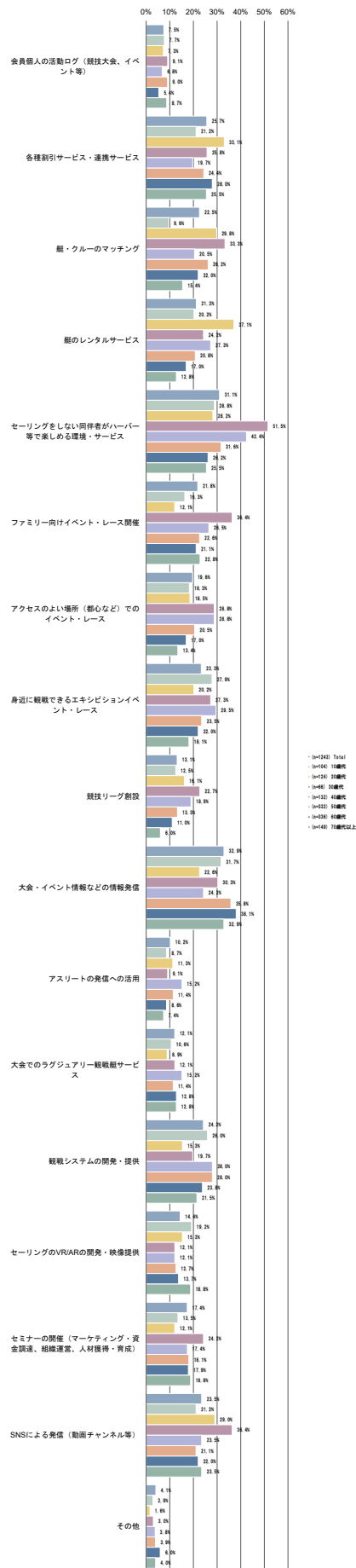


3-21 JSAF 会員サービスに求める内容

図表 3-28 JSAF 会員サービスに求める内容

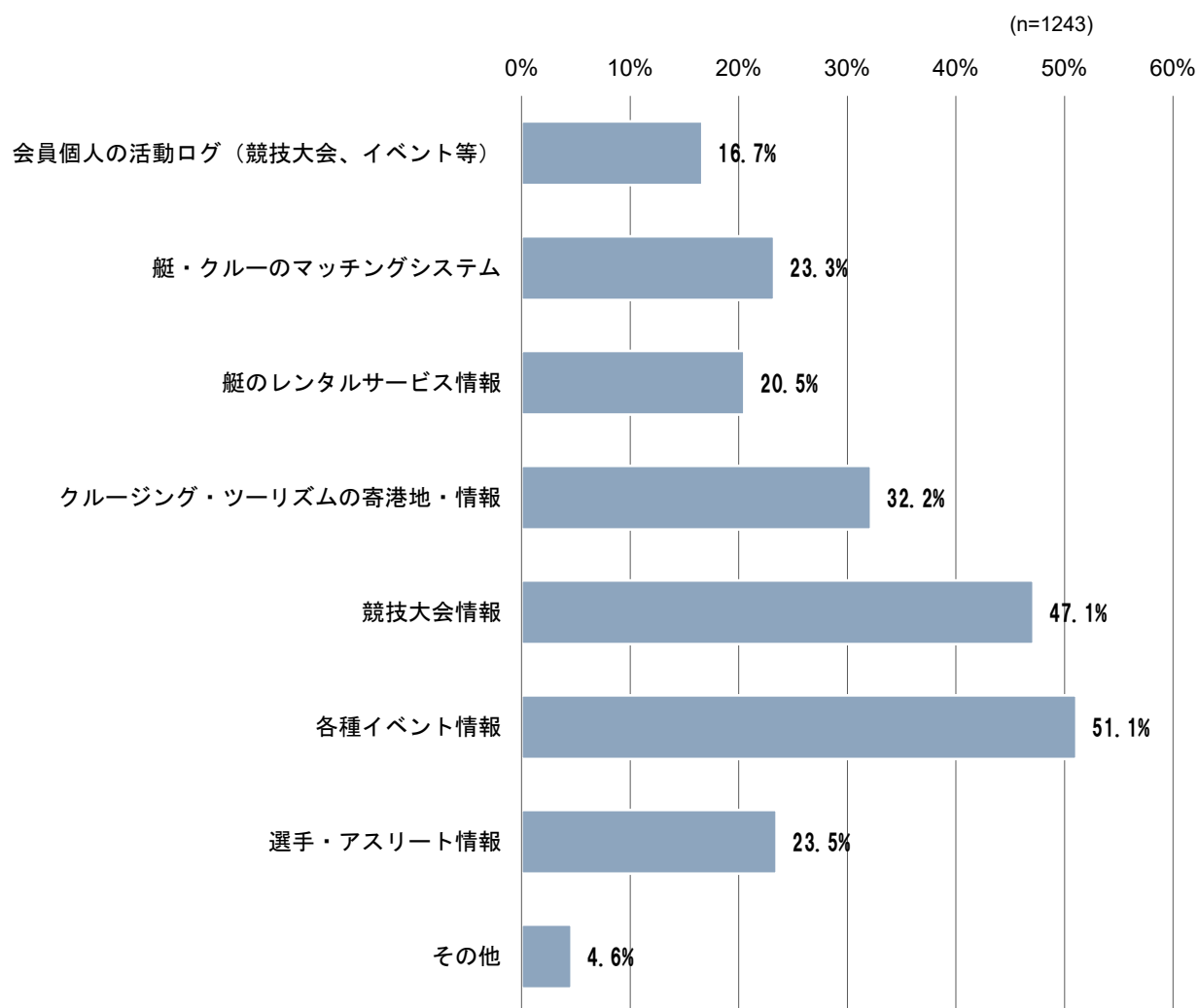


図表 3-29 JSAF 会員サービスに求める内容(年齢階級別)

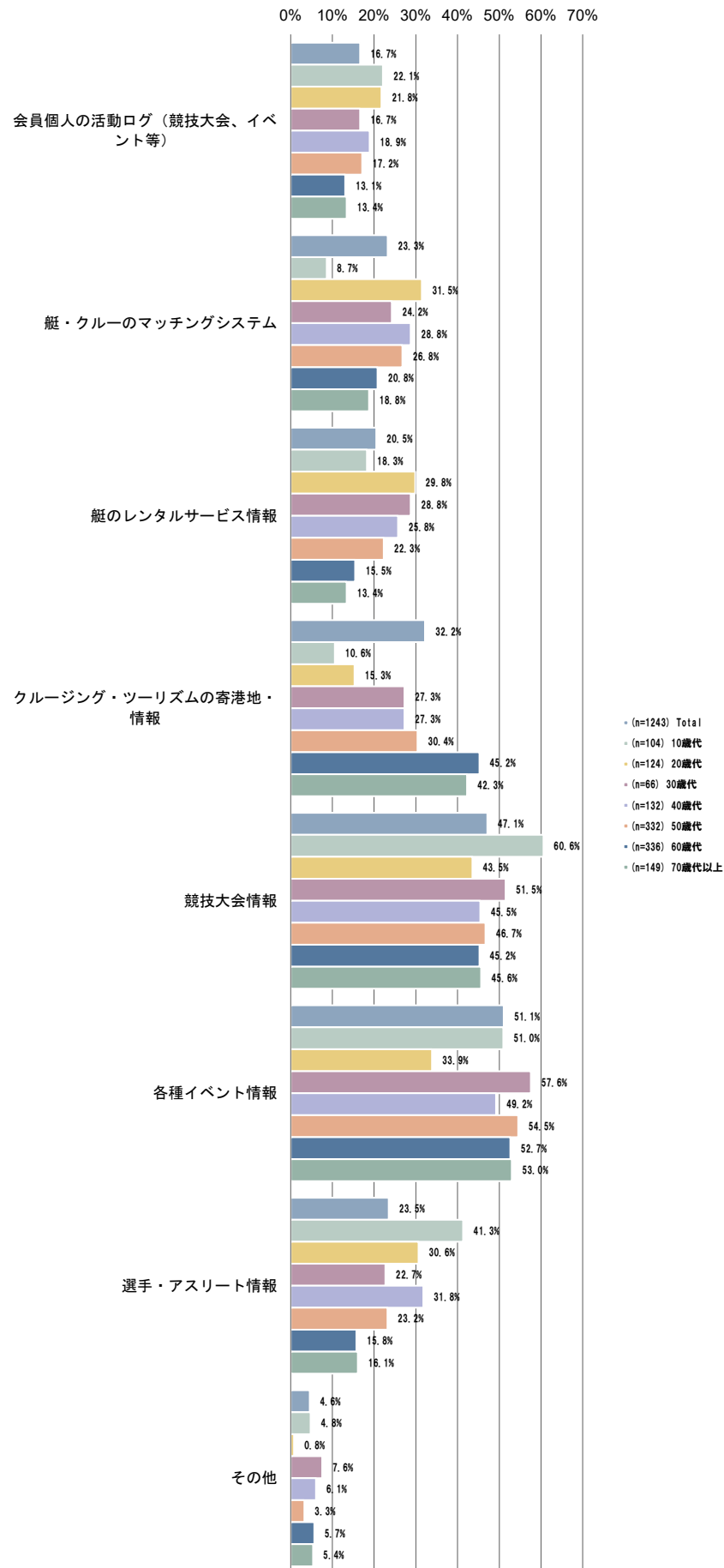


3-22 JSAF に求める情報提供

図表 3-30 JSAF に求める情報提供



図表 3-31 JSAF に求める情報提供(年齢階級別)



3-23 JSAF が今後発信すべきセーリング競技・スポーツの社会的価値

図表 3-32 JSAF が今後発信すべきセーリング競技・スポーツの社会的価値

